



大井消防署 滝王子出張所

大井消防署滝王子出張所には20、50代の38名の職員(消防吏員)の方が勤務しています。10の階級等があり、それぞれ階級章等を身につけています。

【仕事内容】

消防車や救急車で火災や災害、けがや病気の時に駆けつけてくれるだけでなく、様々な仕事をしています。

【警戒対策】

万が一の大地震に備えた地域防災力の推進や、被災危険度が高い地域の町会へ情報提供等を行っています。

【火災予防訓練】

小規模店舗の火気使用器具の使用状況、消防器具の設置確認、取扱い要領の指導をし、予防対策を推進しています。また出火防止や初期消火の指導、家具の転倒防止対策や放火防止対策、火災予防思想の普及を図っています。



↑気軽に参加できる防災訓練

【防災行動の向上】

地域の防災行動力向上のため「まちかど防災訓練」「体験乗車用はしご車」「VR防災訓練車」等の体験イベントや町会や高齢者クラブの防災講話に消火器の取扱い訓練を取入れた、どこでも、いつでも、誰でも参加できる訓練の推進活動を行っています。



↑災害を疑似体験できるVR防災体験

【若手隊員から一言】

三年目の消防副士長、桂大周さんから

現在の仕事は救急隊員として傷病者の生命を守り、苦痛を和らげ、救急現場から医療機関に搬送することです。救急隊員を目指した動機は東日本大震災で消防隊の活躍を見て、私も消防隊の一員として働きたいと感じたからです。傷病者のご家族に「本当にありがとうございます」との一言を頂いた時、この仕事に勤めてよかったというも感じています。

目標は救急隊長になることです。隊長の良いところを自分のものにして、隊をまとめ多くの人を助けられるよう日々精進してまいります。

【所長のコメント】

昨年10月、滝王子出張所の所長に就任された司令、長谷川俊男所長から

地域センター、各町会の防火・防災に対する関心の高さに感銘を受けております。その成果により、今年に入り住宅の延焼火災、焼死者は発生しておりません。また防災訓練を継続実施する重要性をご理解頂き、D級ポンプ等による初期消火訓練等の推進、真にありがとうございます。

まちを見守る 身近な助っ人

消防署 & 消防団



普段は別の仕事をしながら火事や災害時に消防署と共に活動する消防団が各地域にあるのをご存じですか？

今回は、私たちのまちの安心安全のために働いている大井消防署滝王子出張所と、大井第二地区で活動する大井消防団第4分団の方にお話しを伺ってきました。

消防団の歴史

江戸時代、幕府が大名に火の番を命じた大名火消が初めといわれています。町火消-消防組-警防団と名称を変えながら、昭和22年に「消防団」が誕生したそうです。

大井消防団は昭和38年、大井消防署の開設に合わせて発足。第4分団は大井1、6丁目の全域と広町2丁目の一部を受け持ち、現在約30名が団員として活動されています。

大井消防団 第4分団

今年も地震や自然災害が猛威を振っています。その備えとして家具の転倒防止措置、非常持出品の準備、地震発生後の避難経路、一時集合場所及び避難場所の確認、更にはブロック塀や電柱等の倒壊危険個所の掌握についても大切であると考えます。

消防署と致しましては、今後も皆様の安全・安心を継続すべく、所員一丸となって防災訓練等への最大限の協力体制を確保してまいります。



↑長谷川俊男所長

【今後の予定】

東京2020大会の競技場建設が進んでいます。大会をより安全に、安心して観戦できるよう、会場の設備点検、安全確認を各消防署と連携しながら実施する予定です。

【活動内容】

消火活動以外にも様々な活動が行われています。



↑災害現場での活動

【災害現場活動】

実際の災害現場に年に数度は出動します。消火活動以外にも周囲の人の整理や声掛けもします。

【警戒活動】

鹿嶋神社初詣、大井どんたく、年末火の用心の他、今年度は、東京オリンピックテストイベントのパートナーも予定しています。

【各種訓練】

「消火訓練」はもちろん知識や技能を習得する「基礎訓練」や水害時の「水防訓練」「水難訓練」等もあります。各町会の防災訓練では消火器の使用法や三角巾での手当、AEDの救命救急等を指導します。

【ポンプ点検】

不具合がないか、月に一度、点検整備を行います。

【研修・講習】

消防団員教養講座の他、女性消防団員や幹部の研修、手話や英会話の技能講習、無線技士養成やポンプ整備資格者の講習等、代表者が研修を積んでいます。

【行事】

【大井消防団始式(1日)】

新年を迎え、地域の安全・安心に努めることを改めて誓い、団員の日頃の功勞に対して表彰や感謝状の贈呈が行われます。

【ポンプ操法大会(6月)】

大井消防団の4分団が基本操作である給水・放水・撤収の手順や指示の正確さ、消火までのタイムを競います。週2回の練習を積み重ね、今年度は準優勝しました。都大会、全国大会もある大規模な大会です。



↑ポンプ操法大会での放水の様子

【区内三団合同点検(11月)】

東京消防庁が消防団の日頃の訓練の成果を点検確認します。大井・荏原・品川の三消防団が消火訓練・救助訓練等を披露し講評を頂きます。

【若手団員から一言】

大学生の若手団員菅原咲菜さんから

入団のきっかけは、同じ消防団である父から誘われて入団しました。自分の街を自分たちで守るといふのは、思ったより大変だけれど、町や住民の役にたっていると感じた時にやりがいを感じます。



→菅原咲菜さん

【団長のコメント】



↑三柴重夫分団長

区議会議員と様々な方が所属しており、仕事や勉強がおろそかにならないよう助け合いながら活動しています。昨年できた分団本部を拠点に分団独自の防災活動にも取り組みたいと思っています。

災害の報道を見る度「自分たちの身は自分たちで守る」大切さを痛感します。日頃から備えておけば、いざという時、自分や地域の方々の安全のために役立つことでしょう。分団の活動は世代を超えた交流や家族ぐるみの懇親もあり、とても楽しいものです。なにより地域を守ることができていることにやりがいを感じています。

【今後の予定】

毎月行われるポンプ点検の他、10月東京消防庁震災訓練、11月区内三消防団合同点検、年末消防特別警戒(火の用心)、1月鹿嶋神社初詣警戒・始式、2月節分警戒が予定されています。



↑第4分団のタオル

安全安心の基盤を作り守って下さる消防署の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。同時に、自らが協力して行うことも大切ですね。消防団では団員募集中ですので、18歳70才の心身健康な方なら資格不問。みなさま是非！
【榎山・穂積・増山・皆川・市川・嶋村】

【防災協議会からのお知らせ】

今年度も大井第二地区秋の総合防災訓練は行いません。その代わりに町会ごとの防災地図を作成する予定です。